

農と食と環境

－ 環境をまもり食の安全安心を確保するには －

環境カウンセラー 菊澤 正裕

1. なぜ今の農業は環境を壊すのか？ 昔の農業はなぜ環境を壊さなかったのか？

* 1-1 化学肥料を使うから

- ・なぜ化学肥料を使うか？
→
- ・なぜ化学肥料は環境にやさしくないか？
 - ・生きた土とは？
→
- ・化学肥料を使うとなにが起こるか？
 - ・土壌生態系が壊れ、団粒化が進む（スライド1）
 - ・砂化が進み土壌が流出する
 - ・電荷物質の粘土鉱物が減り肥料をつかむ力が弱る（スライド2）
 - ・窒素が地下水を汚染する
 - ・ゴミの増大

* 1-2 有機農業はこれらの問題をおこさない！

- ・生ゴミが減る、なぜ？ →
- ・土壌流出なし、なぜ？ →
- ・地下水汚染なし、なぜ？（スライド3）
→

2. なぜ今、食の安全安心を問うか？ そもそも安全と安心は何が違うか？

* 2-1 農薬や食品添加剤を使うから

- ・今の農業は化学肥料を使う。それは農薬とパッケージになっている。なぜ？
 - 土壌生物…
 - 集約農業…
 - 窒素過多…（スライド4）
- ・きれいな野菜…
- ・日本の気候…
- ・添加剤を使う

*** 2-2 安全安心とは**

- ・安全とは？
 - ・農薬や食品添加剤に対する政府基準が満たされている
 - ・国際版 GAP、日本版は JGAP
- ・安心とは？
→

*** 2-3 有機農産物は安全安心か**

- ・農薬を使わないので安全、なぜ？
→
- ・顔の見える農業、生産者との信頼関係

*** 2-4 環境にやさしく安全安心な有機農業の優位点のまとめ**

- ・生きた土 / 土壌生態系を維持 / 土壌流出なし
- ・農薬不要 / 地下水汚染がない
- ・植物内の窒素が過剰にならない
- ・ゴミが減る
- ・炭水化物肥料を与えるの甘くなる

3. 環境にやさしく安全安心の有機農業はどうすれば復活普及できるか？

*** 3-1 生産者の立場から**

- ・6次産業？ →
- ・みちの駅や直売所
- ・農業に閉じず間口を広げ、他分野とあわせて包括的に推進する
- ・エネルギーの地産地消と抱き合わせる？ →

*** 3-2 消費者の立場から**

- ・きれいな野菜、安い野菜を追い求めない
- ・旬の食材を楽しむ。旬をご存知？ → スライド5に挑戦
- ・国民全体で応援 : ブータンの例 (スライド6)

*** 3-3 農や食に関心をもつ消費者を増やす**

- ・スローフード？ →
- ・地産地消と地域の再生 (スライド7)
- ・みちの駅や直売所に出入りする、関係者と話す、関わりをもつ
- ・家庭菜園市民農園 : 高須町棚田オーナー制度 (スライド8)
- ・防災教育と食育 : 公園を菜園と防災の場に利用 (広島)